11月24日（火曜日）「初代教会の祝福（1）」

【新改訳 2017】

使徒　2•41-47

「そして、彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた。‥‥‥信者となった者はみないっしょにいて、いっさいの物を共有にしていた。‥‥‥毎日‥‥‥宮に集まり‥‥‥神を賛美し‥‥‥。」（42-47 節）

できれば、聖書でこの区分全体を読んでください。これは、史上最初のキリスト教会の実に恵まれた様子です。聖霊降誕時の特別な祝福だったのでしょうか。この後の初代教会や現代の教会でも、これとまったく同じ状態を見ることは容易ではないでしょう。

しかし、これを理想像としてビジョンをもつことはできます。健全で霊的な教会は、聖書の教えを守り、交わりをし、聖餐を共にし、祈ることが基本的要件です。そして、そこには信仰と愛と喜びや賛美があふれ、周囲の人たちにも証しとなり、救われる人たちも加えられるのです。

私たちの教会は、そして、自分自身はどうでしょうか。個人と

しても教会としても祝福を祈りましょう。

～祈り～

主よ。エルサレム教会のすばらしい様子を学びますが、どうか、私たちの教会もこのような霊的教会として成長できますように導いてください。

【学びのために】

言うまでもなく時代の違いはありますが、現代の私たちは、もっと初代教会の姿に学び、聖霊に導かれて成長するように、共に真剣に祈り、学び、交わり、奉仕すべきではないでしょうか。